

春 夏 秋 冬

所長 田沢 文 章

畑の開墾

昨年、利用者の方が雑草生い茂る地を開墾して、畑を作り始めました。今まで放置されていた地のため、開墾には時間がかかるものと思っていましたが、二日間ほどで畑らしくなり、その後に苗が植わり、枝の巻きつく棒が立つと、あつという間に手入れの行き届いた。

私も自宅で開墾地よりひと回り小さな畑を耕しています。休みになると、肥料をまいたりしていますが、三〇分も耕すと腰が痛くありません。半月もかかつてやつと苗を植えるまでに

なりましたが、それに引き替え利用者の方は二日間でこの地を開墾しました。自分の畑作業を省みて、利用者の方のような丹精込めたりっぱな畑づくりは、まず無理だと諦めました。

八十歳で登頂

先日、三浦雄一郎さんが、エベレスト登頂と言うニュースが流れています。八〇歳ということで、その体力気力に驚くばかりです。

私の自宅は福島小学校の裏山にあり、町中から歩いて登ると高低差で六〇メートルあります。飲んだ後には、歩いて帰宅するのですが、この高低差を上るのに、心臓が苦しくて途中で三回は休憩をとります。

好々爺に：
若い時には、年を取ると、みんな好々爺になると思つていました。しかし、自分がその年代に近くなつてく

自分の現在の状態を省みて、元気に長生きすることは、まず無理だと諦めました。

諦めない：

私は最近、懲りることもなく、何度も自分の英語学習に挑戦をし始めました。前回は一週間でしたが、今回は…。

自分の性格を省みて…。とにかく諦めずに続く事を祈っています。



楽しみにしていた バス旅行

ると、皆が皆、好々爺になる訳ではない事に気がつきました。

年を経ると性格が少しは丸くなるものの、基本的に若い時と何ら変わりがない時とへたをするときも頑固になるようです。酒を飲んで、同じ説教を何回も繰り返し言うようになつたら、もう要注意です。

自分の現在の性格を省みて、好々爺になることは、まず諦めました。